

人とつながる 豊かな心を育む 未来にひろがる はむらの学び



はむらの 教育



▲富士見小学校6年生 渡邊 愛美佳さんの作品

3月は節目の時期です。
今年度一番頑張ったことなどを振り返り、大切な思い出とともに新しく始まる生活への
スタートを切る節目となる時です。
市民の皆さんが新しい環境で輝き学び続けることができるよう取り組んでまいります。



◀市公式サイト

編集・発行/羽村市教育委員会 〒205-8601 羽村市緑ヶ丘5-2-1 TEL042-555-1111 FAX.042-578-0131
市公式サイトURL <http://www.city.hamura.tokyo.jp/> E-mail:s700000@city.hamura.tokyo.jp

No.96

令和5年(2023)
3月1日発行



スポーツ実施率70.0%に向けての取組み

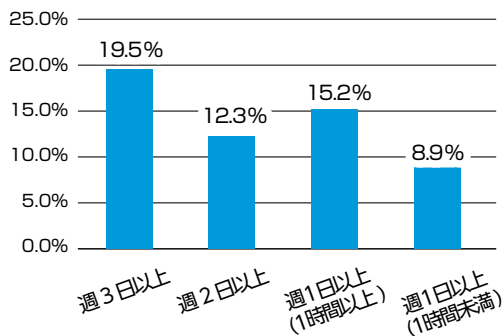


教育委員会では、スポーツ基本法に基づき、令和4年3月に「スポーツを通じた健康づくり まちづくり」を基本理念とする第2期羽村市スポーツ推進計画を策定しました。

本計画の計画期間は令和4年度～8年度の5年間であり、終了年度における成果目標として、**スポーツ実施率の向上**を掲げています。スポーツ実施率とは、市民が週1回以上スポーツを実施した割合のことを指します。具体的には、55.9%（令和2年度時点）である実施率を**70.0%**まで引き上げようというものです。

＜令和2年度羽村市政世論調査結果＞

1年間に行ったスポーツ・運動日数



スポーツの範囲

スポーツと聞くと少しハードルが高く感じるかもしれませんが、どなたでも気軽に実践できます。本計画ではルールに基づいて勝敗や記録を競うものはもちろん、健康や体力の保持増進、遊びや楽しみを目的とした身体活動まで幅広くスポーツと捉えています。

コロナ禍で外出する機会も減っていると思いますが、家の中でのストレッチもスポーツです。また、普段車で移動しているところを徒歩や自転車移動することもスポーツです。まずは週1回から無理のない範囲で始めてみましょう。

スポーツ機会の提供

スポーツ推進課では、子どもから高齢者まで、それぞれの年代に合わせたスポーツ機会を提供しています。当課での事業の一部を紹介しますので、興味のある方は来年度以降ぜひ参加してください。

○オリンピック・パラリンピック競技種目体験教室

令和4年度については、オリンピック競技種目は「**ブレイクダンス(ブレイキン)**」、パラリンピック競技種目は「**シッティングバレーボール**」と「**ボッチャ**」の体験教室を行いました。



▶オリンピック競技種目体験教室
(ブレイクダンス)

○歩き方教室

講義で知識を学び、その後講義で得たものを実践するという流れになっています。気軽に始められるスポーツ「**ウォーキング**」の楽しさを実感しましょう。

**運動不足の方に！
羽村市ウォーキングマップを活用しましょう**

羽村市ウォーキングマップは羽村市スポーツ推進委員協議会の監修により作成したもので、市内の5つのコースを紹介しています。また、ウォーキングの効果や理想のフォーム、靴の選び方や履き方、注意事項なども記載しています。S&Dスポーツアリーナ羽村（スポーツセンター）でも配布していますので、一度手に取ってみてください。



▲パラリンピック競技種目体験教室
（上 シッティングバレーボール
下 ボッチャ）

【問合せ】スポーツ推進課 ☎5555-0033

令和5年4月から

羽村市立学校にコミュニティ・スクールを導入します

地域住民や保護者の学校への参画をすすめ、地域に根差した特色ある学校づくりをさらに推進するため、市立学校にコミュニティ・スクールを令和5年4月から、順次導入します。

コミュニティ・スクールで目指すもの

コミュニティ・スクールを「地域とともにある学校」と捉え、学校を中核として「地域のみならず、笑顔で夢のある教育を語り、大人も子どもも成長し、自分の経験や知識・技能を生かしていくこと」を目指します。

コミュニティ・スクール委員会(学校運営協議会)とは

コミュニティ・スクール委員会は、学校運営について一定の範囲内で意思決定を行う合議制の機関で、原則各学校に設置します。

委員は、校長、保護者代表、地域住民などの6人で構成し、教育課程などの学校運営に関する基本的な方針の承認や、学校運営に必要なとなる支援に関する協議、学校評価などを行います。

す。校長は、コミュニティ・スクール委員会が承認する基本的な方針に沿って学校運営を行うこととなります。

地域との関わり

コミュニティ・スクールと一体となつて活動を支えあう地域の支援組織として、各学校に地域学校協働本部を置きます。各学校に配置する活動推進員と学区ごとに配置する地域コーディネーターを中心に、学校と地域が組織的に連携・協働する体制を構築します。

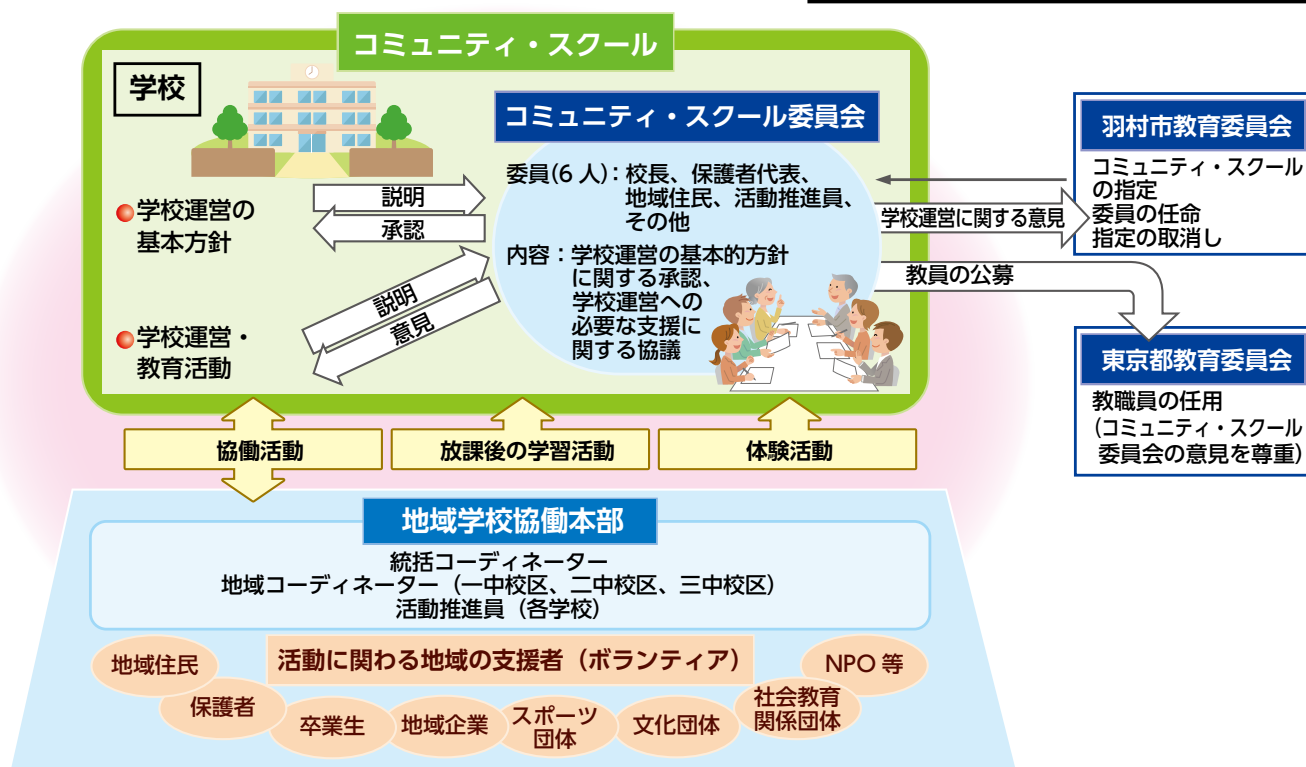
コミュニティ・スクール導入のスケジュール

●令和5年4月 2校導入
(栄小学校、羽村第一中学校)

●令和6年4月 8校導入
コミュニティ・スクールは、学校運営に広く保護者や地域の皆さんが参画できる仕組みであり、地域に根差した特色ある学校づくりにつながるものです。地域の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

※コミュニティ・スクールは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に基づき、学校運営協議会を設置した学校のことをいいます。羽村市では、学校運営協議会を「コミュニティ・スクール委員会」と呼びます。

コミュニティ・スクールのイメージ



【問合せ】 学校教育課指導係 (内線376)

羽村市教育委員会研究指定校について

羽村市教育委員会では、『学校が主体的に教育上の課題を取り上げ、研究すること』で、羽村市における教育の発展に資すること』を目的として、羽村市教育委員会研究指定校事業を行っています。この事業は、2年間の研究として取り組んでいるもので、令和4年度は、武蔵野小学校(第2年次)と羽村第三中学校(第1年次)が研究しています。そこで、今回は武蔵野小学校における2年間の研究の成果について、紹介します。



◀ 5年生
総合的な学習の
時間の様子



2年生
生活科の授業の様子▶

令和4年度羽村市教育委員会研究指定校

《武蔵野小学校(第2年次)》

テーマ：自ら学びを獲得していく児童の育成

～児童が地域社会とより良くつながる学習活動を通して～

《羽村第三中学校(第1年次)》

テーマ：変化が激しく、予測困難な時代を生き抜く生徒の育成

～主体的・創造的な活動を通して～

研究テーマについて

30年後の社会は、どうなっているのでしょうか。社会生活のあらゆる面でAIが進化し、より「人」が活躍すべきことを考えていく必要が迫られる世の中となるのかもしれない。そのような世の中を生き抜くためには、児童は受け身ではなく、自ら学びを獲得していくことが必要です。自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していく『学びの転換』が求められます。

そこで、武蔵野小学校では、「自ら学びを獲得していく児童の育成」をテーマとし、令和3年度・令和4年度に研究を進めました。



研究の取組み

自ら学びを獲得するため、さまざまな教科(単元・題材)において、4つの手立てを実践し、研究を進めました。

研究の成果と課題

児童・教師・地域の方とともに学ぶ環境を整えるため、地域の方と打合せを何度も重ね、「授業のねらい」の共通理解を図るとともに、地域の方には、「児童が考えるための問い返しと価値付け」の役割をお願いしました。また、地域の方からいただいた助言や指導の工夫についての意見を授業に取り入れ、一緒に授業づくりを行いました。

手立て①

多様な「人・もの・こと」
つながる協働的な学び



児童・教師・地域の方とともに学ぶ環境を整えるため、地域の方と打合せを何度も重ね、「授業のねらい」の共通理解を図るとともに、地域の方には、「児童が考えるための問い返しと価値付け」の役割をお願いしました。また、地域の方からいただいた助言や指導の工夫についての意見を授業に取り入れ、一緒に授業づくりを行いました。

手立て③

時間軸・空間軸を超える
効果的な端末の活用



1人1台端末を活用し、情報収集や意見の分類、考えの見える化をしました。また、地域や企業の方、保護者とオンラインなどをつなげた協働的に学ぶ環境は、学校内では得ることのできないワクワク感につながり、積極的な行動に結びつけることができました。

手立て②

本気になって学ぶ自分ごと化

身近なことや関係のある題材、解決の見通しがたちそうな課題を設定し、児童が自分自身のこととしてとらえられるようにしました。また、多様な他者や教員からの問い返しによって、自分の考えを相手に表現する「自分ごと」としての考えを深め、そのやりとりの中から、考えの再構築を行い、納得いく解決へつなげました。

手立て④

個別最適な課題、情報分析、発信
等の自己選択

解決の方法を自己選択するため教科(単元・題材)で7つの思考キーワードを手がかりとして活用しました。教室にキーワードを掲示し、教員も児童も思考キーワードを選択することや、さまざまな場に応じて、解決方法を自分で選んで取り組みました。

今回の研究では、地域社会とのつながりを大切にした学びを実践してきました。多様な他者とながらすることは、児童自身の考えや視点の変化・広がりにつながることがわかりました。また、教師が授業中に児童の身近な題材で興味・関心をもたせるようにすることで、話を聞きたい、解決したい、行動したいと自己決定させ、児童の「自分ごと化」を高めることができました。

地域の方とつながった協働学習のスタイルの確立は、地域社会に開かれた教育課程につながるものです。今後は、今回の研究で実践した多様な他者とのつながりが持続可能な形となるよう環境整備を進め、地域の多様な「人・もの・こと」とつながった学びを通して、さらに主体的に学びを深めていく児童の育成に取り組んでいきます。

研究の成果は、市内の全小学校及び中学校に共有しており、さまざまな教育活動の参考としています。

【問合せ】 学校教育課指導係(内線376)

中学校部活動の活躍

中学校の部活動は、生徒同士や教員などとの交流の中で、多様な学びの場として、生徒の成長につながっています。
新型コロナウイルス感染症により、各校における部活動に影響がある中ではありましたが、今年度、運動部、文化部ともに、優秀な成績を収めた部活動について、主なものを紹介します。

【主な成績】(敬称略)

○羽村第一中学校

部活動名	大会名・出場者等
ソフトテニス部	第66回東京都中学校新人大会 女子団体 準優勝
吹奏楽部	第62回東京都吹奏楽コンクール 中学校の部 金賞(東京都代表 全国大会出場決定)
	第70回全日本吹奏楽コンクール 中学校の部 銀賞
	第56回東京都中学校アンサンブルコンテスト 金賞
	第46回東京都アンサンブルコンテスト 中学校の部 金賞(東京都代表 全国大会出場決定)
水泳部	第62回全国中学校水泳競技大会 800M 自由形 第8位
	第61回東京都中学校総合体育大会 800M 自由形 第3位

松原 美月

○羽村第二中学校

部活動名	大会名・出場者等
合唱部	第89回NHK全国学校音楽コンクール 東京都コンクール予選 奨励賞
水泳部	第62回全国中学校水泳競技大会 200M バタフライ 優勝

石塚 宇海

○羽村第三中学校

部活動名	大会名・出場者等
ソフトテニス部	第52回関東中学校ソフトテニス大会 女子個人戦出場
	第52回関東中学校ソフトテニス大会 女子団体戦出場
	第72回東京都中学校ソフトテニス選手権大会 女子団体 準優勝
	第66回東京都中学校新人大会 女子団体 第3位
吹奏楽部	第62回東京都中学校吹奏楽コンクール東日本部門 銀賞

森 彩花・山本 桜子
川嶋 理咲・松崎 茜

プリモホール ゆとろぎから

第22回 ゆとろぎ想ひ出の映画鑑賞 「鉄道員」(1999年公開作品)

高倉健演じる鉄道員一筋の人生を送ってきた、北の果ての小さな終着駅の駅長に訪れたやさしい奇蹟の物語を16ミリ映写機で上映します。

日時：3月18日(土)午後2時～(午後1時30分開場)(2時間上映)

会場：ゆとろぎ小ホール

原作：浅田次郎

監督：降旗康男

出演：高倉健、大竹しのぶ、小林稔侍、志村けん、安藤政信 他

定員：250名(全席指定)

入場料：無料(要入場券)

入場券は3月4日(土)午前9時～ゆとろぎ窓口にて配付開始(1人1枚まで)

※未就学児入場不可

主催：羽村市教育委員会

企画・運営：ゆとろぎ協働事業運営

市民の会

協力：はむら16ミリ映像研究会

国立音楽大学との連携事業

令和4年度は、「ゆとろぎ避難訓練コンサート」弦だらけのわくわくマチェ「1st Anniversary Concert」冬を楽しむ室内楽の調べ「親子でワクワク！リットミックスリズムにのろう！リズムであそぼう！」の2公演1講座を連携して行いました。

「ゆとろぎ避難訓練コンサート」

お客様と一緒に、安全かつスムーズな避難誘導の確認をする貴重な機会となり、また出演者(在学生など)には演奏会の企画構成から参加してもらいました。

武田忠善学長を筆頭に、同大学教員と才能溢れる学生による、春に相応しい楽曲の演奏は、とても聞きごたえのあるものでした。

「1st Anniversary Concert」

伊藤仁美 准教授(音楽文化教育学科)のピアノに合わせ、自由に体を動かして表現することの楽しさを親子で体験してもらいました。

「親子でワクワク！リットミックス」

今後ともさまざまな連携事業を企画していきます。「ゆとろぎイベントガイド」や市公式サイトなどでお知らせします。乞うご期待！



図書館分室の本を使って 松林小学校で ビブリオバトルを行いました！

12月13日(火)、松林小学校3年生の授業で、羽村市図書館富士見平分室の本を利用して、ビブリオバトルを行いました。富士見平分室は12月28日で閉室しましたが、児童は閉室前に富士見平分室を訪れ、それぞれお気に入りの本を選び、その本でビブリオバトルを行いました。数々の本の中から「チャンプ本(1番の本)」を選び、最後に、これまでの感謝の気持ちを込めた手紙を図書館職員へ手渡しました。「チャンプ本」は、図書館の年末年始イベント「福ぶつく」の中で、オリジナルブックカバーをつけて貸し出されました。

※ビブリオバトルとは…本の内容を決まった時間の中で紹介し、質疑応答をしたのちに、一番読みたいと思った本を決めるゲーム感覚を取り入れた取組みです。



図書館三分室について

昨年12月28日をもって、羽村市図書館の三分室(加美・富士見平・川崎)が閉室しました。昭和50年12月に加美分室が開室し、たくさんの方の市民の皆さんにご利用いただき、そこから40年以上の時間を経て、たくさんの方の思い出が作られました。分室は児童書を中心に所蔵していたため、多くの子供たちが初めて本に触れる場所にもなったことと思います。

今後は本のコンシェルジュサービスや宅配サービスなどで、多くの皆さんに本をお届けできるような取組みを行います。ぜひ、利用してください。



【問合せ】 学校教育課指導係(内線376)、図書館

☎ 554-2280

教育随想

教育委員会委員を拝命してからというもの、さまざまな『学び』に敏感になった気がします。先日、七十代の女性が通信教育で高校過程の勉強をしているというテレビ番組を観ました。インタビュアーに「だって私JK(女子高生のこと)だもん」と明るく嬉しそうに話していたその人は、経済的な問題で十代の頃には通えなかった高校の勉強を、七十代になってから始めたということでした。「勉強が楽しい」と笑顔で語る姿を見て「そうだよ、本来勉強は楽しいんだよね。知識が増えるのは喜びだよ」と共感しました。知らなかったことを知る、わからなかったことを理解できるようになる喜びは、大人も子どもと同じだと思います。

私は小学生の頃、夏休みの課題『自由研究』が好きでした。興味を持ったこと(母からのアドバイスもありました)について観察・記録し、本で調べて、頭の中でごちゃごちゃやっていた「？」が晴れていく感じが好きでした。ネット検索なんてない時代でしたから、関連する本を読みヒントや答えを探す作業が、面白いと思っていました。あら？もしかしたら、簡単にネットで何でも調べられる今の子どもたちは、その面白さを体験していない？いいえ、今の子どもたちには、得られた知識をどう活用していくかというところに、深い学びがあるのでしょう。時代によって学び方は変わっても、いつの時代も知識をどう活かしていくかが重要で、自己実現につながるポイントなのですね。「論語読みの論語知らず」ということを思い出しました。

そういえば少し前の一時期、書店のビジネスコーナーに「アウトプットの仕方」の類の本が目立っていた気がします。この言葉、コンピュータ用語の出力とは違う意味で「学習や経験によって得た知識を、発言や活動に反映させること」だそうです。豊富な知識を持つことは誇れることには違いないけれど、アウトプットして役立てればさらに価値も増すことなのでしょう。

教育・学びに関するお仕事をする機会をいただいているのだから、学んで知識を得たい人とその知識を積極的に活用したい人の橋渡しになればいいなど、新年度に向けて改めて思います。そして学ぶことは楽しいと、子どもも大人もみんなが実感できるような羽村の教育が実現できるように、微力ながら力を尽くしてまいります。



教育委員会委員 塩田 真紀子

郷土博物館から

展示説明員活動中！

令和4年8月から9月にかけて全6回の養成講座を行いました。

【第1回】

郷土博物館事業の説明や常設展示室の解説を行いました。

【第2回・第3回】

玉川上水の歴史について講義を行いました。

【第4回・第5回】

(①羽村堰～福生分水口、②西武鉄道玉川上水駅～同鉄道東大和市駅)

玉川上水沿いや分水沿いを実際に歩きながら実地研修を行いました。



【第6回】

学習指導要領をふまえた小学校4年生の学習目標について講義形式で学んだほか、既に展示説明員として活動している方から、心構えやアドバイスを伺いました。

養成講座終了後、これまでに活動している展示説明員に新たに8人が加わり、14人体制となりました。

これからも引き続き、小学校4年生が玉川上水について理解を深められるように取り組んでいきます。

展示説明員の皆さんの声

●講座で玉川上水の知識を深めることができました。

●初めての展示説明は緊張しましたが、今ではだいぶ慣れてきて、楽しんで説明をしています。

【問合せ】

郷土博物館

☎558-2561

羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市の文化を推進していくための団体です。

羽村市文化協会

TEL 579-2772

日頃から文化協会活動へのご協力ご支援をありがとうございます。

日ごとに春の息吹が感じられる季節となりました。昨年はコロナ禍の中、三年ぶりの第53回文化祭を始め、第16回美術・工芸展、第1回芸能まつり、第14回はむら音楽祭、ゆとろぎでお正月を遊ぼう、洋楽・邦楽サロンコンサート、ふれあいステージ、みぢかな一歩展、サークル紹介、体験教室など循環型生涯学習の推進、発表の場の提供、支援を推進しました。

今後も皆さんと協力しながら羽村の芸術・文化を推進していきます。

【羽村市文化協会
令和5年度年間イベント予定】

4月30日(日) 第94回サロンコンサート

5月27日(土) 羽村リコーダーアンサンブル文化協会総会、第95回サロンコンサート 男声合唱「ラネッロ」

(都合により変更もあります)

5月16日(火)～6月18日(日)

第17回美術・工芸展

6月4日(日) 第6回舞踊まつり

10月6日(金)～11月3日(金・祝)予定

第54回文化祭



INFORMATION

羽村市役所 (代表) Tel 555-1111

プリモホールゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
プリモライブラリーはむら(図書館)	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
S&Dスポーツアリーナ羽村 (スポーツセンター)	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
S&Dスイミングプラザ羽村 (スイミングセンター)	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 554-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室 ハーモニースクールはむら	Tel 554-1331